

## 鳥羽市地域公共交通会議 会議録

会議の名称	令和4年度第1回鳥羽市地域公共交通会議バス幹事会
開催日時	令和4年5月31日（木）10:00～11:50
開催場所	鳥羽市役所西庁舎 3階 中会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. あいさつ</li> <li>2. 新委員紹介</li> <li>3. 活発で良い議論ができる会議のために (三重運輸支局様からのご案内)</li> <li>4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議決算について</li> <li>(2) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について</li> <li>(3) 令和3年度かもめバス利用状況統計について</li> <li>(4) 小田浜停留所の移設について</li> </ol> </li> <li>5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度鳥羽市地域公共交通会議スケジュール及び予算（案）について</li> <li>(2) 鳥羽市地域公共交通計画の評価等結果（案）について</li> <li>(3) 鳥羽市地域公共交通計画実施計画（令和4年度版）（案）について</li> <li>(4) 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について</li> </ol> </li> <li>6. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 公共交通利用促進に向けた案内表示の現状と課題 (名古屋大学大学院環境研究科様と鳥羽市とのフィールドワーク結果報告)</li> </ol> </li> </ol>
会議資料	<p>事項書・席次表・委員名簿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冊子『活発で良い議論ができる会議のために』</li> <li>【資料1】 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議決算</li> <li>【資料2】 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果</li> <li>【資料3】 令和3年度かもめバス利用状況統計</li> <li>【資料4】 小田浜停留所の移設について</li> <li>【資料5】 令和4年度鳥羽市地域公共交通会議スケジュール及び予算（案）</li> <li>【資料6】 鳥羽市地域公共交通計画の評価等結果（案）</li> <li>【資料7】 鳥羽市地域公共交通計画実施計画（令和4年度版）（案）</li> <li>【資料8】 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）</li> <li>【資料9】 近鉄鳥羽駅周辺案内表示改善イメージ</li> </ul>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	7人
出席委員	立花会長、加藤委員、水谷委員、川北委員、濱崎委員、中山委員、山下委員、杉阪委員、今井委員、前葉委員、松林委員、谷端委員、山路委員、羽田委員代理 松島氏、片岡委員、岡本委員、高浪委員、辻川委員
オブザーバー	なし
欠席委員	小崎委員、渡邊委員
事務局	<p>企画財政課 中村、田畑、小崎</p> <p>定期船課 山本、西根、角谷</p>
<p><b>1. あいさつ</b></p> <p>○事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・配布資料の確認</li> <li>・出欠報告</li> </ul> <p>○会長挨拶</p> <p>本日はご多忙中お集りいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>加藤教授をはじめ、交通事業者、各種団体、利用者の皆様におかれましては、日ごろの市政運営へのご</p>	

協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、世間ではモータリゼーションの進展や人口減少などによって地域公共交通の利用者は減少傾向にあると言われておりますが、高齢化・人口減少社会を迎えたからこそ、点在する集落と中心地域、人々とサービスをつなぐ交通ネットワークの重要性がさらに増していくものと考えております。また、鳥羽市においては、観光旅客の輸送をスムーズにできるかどうか、地域全体の賑わい・地域経済の維持発展に大きな影響を及ぼすことから、地域公共交通は、地域経済循環の要として非常に大きな役割を担っておりと考えております。

コロナ禍にあって、人流の抑制、公共交通機関の利用控えなどと、非常に厳しい局面を迎えておりますが、この鳥羽市の自然的・経済的・社会的条件に応じた活性化策について、お集りの皆様が当事者として共に意見を出し合い、持続可能な地域公共交通に向けた方策を探っていきたくと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 新委員の紹介

事務局より新委員を紹介。

## 3. 活発で良い議論ができる会議のために

○中部運輸局三重運輸支局

冊子「地域公共交通について活発で良い議論ができる会議のために」により、公共交通会議の目的、会議参加者と役割、地域に合ったより良い公共交通の実現について説明。

## 4. 報告事項

### (1) 令和3年度鳥羽市地域公共交通会議決算について

○事務局説明

資料1により令和3年度鳥羽市地域公共交通会議決算(案)を説明。

○監査報告

監事羽田委員の代理松島氏より、監査の結果、出納は適正であった旨を報告。

○委員からの質問等

なし

○採決

原案どおり承認。

### (2) 令和3年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

○事務局説明

資料2により地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について報告。

○委員からの質問等

なし

### (3) 令和3年度かもめバス利用状況統計について

○事務局説明

資料3により、かもめバス利用状況を報告。

○委員からの質問等

・委員(学識経験者)

定期券販売数は増となっている。定期券の購入者である学生数そのものが増加したとは考えにくく、一昨年のコロナ休校の影響による減が戻ったと推定される場所であるが、一方でハッピーチケット(回数券)が昨年度に引き続き減となっており、一昨年の影響が回復していないことが読み取れる。生活に近いハッピーチケットの販売数が減になっていることに関し、どのように捉えているか。

・事務局

ハッピーチケットが減少になったということに関しては、悩ましいところ。市広報誌などにより、引き続き買っていただける層に働きかけていく必要があると感じている。

・会長

ゴールデンウィークにおける各公共交通の状況はいかがであったか。

・委員（市）

臨時駐車場も満車となり水族館前に渋滞が生じる場面もあり、お客様は戻ってきている感じはあったが、自家用車利用が多かった。自家用車のお客様を臨時駐車場からのピストン輸送の際の船内の密集を嫌ってか、又は車で待機でもテレビやスマートフォンで快適に時間がつぶせるために、臨時駐車場を利用せず渋滞に並んで待つという判断をされた方が非常に多かった。また、ゴールデンウィーク中には、特急電車、他地域でバスを利用したが、公共交通にはまだまだお客様は戻っていないという感触である。公共交通が如何に安全か、快適かということをもう少しアピールしていかなければならない。

・委員（鉄道事業者）

昨年、一昨年と比較すると増えており、特に4日は非常に賑わっていたものの、2019年と比べると戻っていない。公共交通の利用促進を考えなければならない。

・委員（市民代表）

ハッピーチケットの伸び悩みという意見があったが、市内事業所で移動販売車などにより地域に向いて販売している例がある。福祉バスとの関係もあり、そういったことも影響しているのではないかと。

・委員（市）

高齢者を取り巻く状況として、長引くコロナ禍の影響として考察すると、今まで外出できていた方が、出控え期間が長期化していることにより筋力が落ちるなどした結果、公共交通を利用しづらくなっているのではないかとということも要因として捉えている。介護予防等を行うことで、筋力を取り戻し、高齢者自身が外出できるような対策が必要であると捉えている。

・会長

公共交通の利用促進として、「公共交通の利用」に戻ってきてもらうという対策についてしっかり考え、あわせて免許返納された方に対しても公共交通を使用していただくようこれからも力を入れていくべきである。

#### （４）小田浜停留所の移設について

○事務局説明

資料4により小田浜停留所の移設について報告。

○委員からの質問等

・委員（運輸支局）

停留所の変更に伴い、運賃等に関する変更事項はないということで間違いないか。

・事務局

間違いありません。

○結果

委員により異議がないものとして合意。

### 5. 協議事項

#### （１）令和4年度鳥羽市地域公共交通会議スケジュール及び予算（案）について

○事務局

資料5に基づき、協議・検討に関するスケジュール、その他利用促進に向けた会議等のスケジュール及び予算（案）について説明。

○委員からの質問等

・委員（学校）

スケジュールに記載の「とばっこくらぶ」活動については、指導にあっていた顧問が文部科学大臣から表彰いただいた。本校は地域学に力を入れており、推進にあたり、まず教員自身も鳥羽のことをしっかり知らないといけないということで、鳥羽城址、相差地区、離島などのスポットを巡るなどの活動に取り組んでいる。

本年度1年生に向けては、次年、再来年に向けて、本校の強みである「観光」、ドローンとVRを融合させた新しい時代の観光の可能性を模索している。様々な場面で協力させていただくことで、生徒

のやりがい、学校の活性化にもつながりますので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

・委員（学識経験者）

この計画は、あくまで現時点の当初の予定であって、これから検討の結果いろいろ取り組みは進めていくとの理解で良いか。

地域課題や様々な取り組みに関し、解決に挑む意欲と姿勢があれば協力を惜しまないでお声掛けをいただきたい。また、学生の話が先ほどあったが、10代・20代の方は、自家用車の方が金銭的負担が重い、運転が面倒との意見を持っているが、公共交通が不便であると他の地域に行ってしまう。そうならないようにするために、若い世代の意見をしっかり聞いて、そういった世代が使いやすく、またリーズナブルな使い続けたい公共交通を目指すべきである。新しい取り組みがあれば、適時計画に加えていていただきたい。

○採決

原案どおり承認。

## （2）鳥羽市地域内公共交通計画の評価等について

○事務局

資料6に基づき、個別事業評価チェックシート、評価指標チェックシートについて抜粋して説明。

（主な説明点）

・個別事業評価チェックシート

目標Ⅰ 低年齢層や親子向けの働きかけ

目標Ⅱ とばすまっぷの見直し、定期航路事業のキャッシュレス化、観光情報の発信

目標Ⅲ ネット検索への対応・企画乗船券のデジタル化

目標Ⅳ 定期航路のダイヤ再編、答志島内での陸上移動手段の検討、かもめバス・福祉バス再編、施設の統合・集約を補う移動手段の検討

目標Ⅴ かもめバス、定期航路の効率的な運行・運航

目標Ⅵ 老朽船舶の更新、安全な乗降の確保

目標Ⅶ 離島の救急搬送体制の構築

・評価指標チェックシート

乗り継ぎ割引券利用者数

周遊券（かもめバス、市営定期船）

定期航路事業運行収益比率

かもめバス収益比率

老朽船舶に代わる新たな船舶の建造

各地区で関係各課と地域の方が移動について話し合う件数。

○委員の質問等

・委員（学識経験者）

施設集約という言葉は「施設の廃止」を伴うイメージがあり抵抗もあるだろうが、単に使用しなくなった施設を廃止するというものではなく、例えばバスのターミナル機能、待合・交流の拠点として活用できないかなども含めて検討いただきたい。

また、公共交通と施設・サービスとの関係という点で、先の説明でスーパー等による移動販売車などの事業活動に関して紹介があったが、それで需要を補えていると考えるものではなく、そもそも公共交通が至らないがゆえに生じた不安定なサービスであることを含めて考える必要がある。取組み例としては、スーパーに買い物に行った際に、往路運賃はお客様自身で負担いただくが、一定額以上の購入者には復路分の公共交通のチケットをサービスする、あるいはポイントが付くなどの方策が考えられる。また、そういった際は、デジタルの活用も方途としては良いが、アナログ・紙チケットとすることで、より事業所側の運用が容易となり、また利用者の実感にもつながる方法などが挙げられる。

場渡り的な対策でなく、「施設と公共交通の連携」を上手くやっていけるかが肝要。今回、鳥羽の公共交通の事務局がこのような体制となったことに関しても、そういった取り組みの推進にふさわしいと感じる。バックアップさせていただくので、ぜひ進めていただきたい。

・会長

全く同感で、現状、バス停だけ置いている例が多い。天候に左右されず待ち時間も楽しんでいただ

ける場所としていければという思いがある。事業所の方々にも軒先を貸していただくなど、快適に公共交通を利用いただけるような方策を検討していきたい。

その他、意見が出やすいように近況の取組を紹介をさせていただくと、ミジュマルトレイン、ミジュマルバスに関する取組を紹介いただきたい。

・委員（市）

5月21日からかもめバスでポケモンのラッピングバスが2台運行している。三重交通さんがSNSで発信したところ、今までにない反響が見られた。そういったことをこれからもやっていきたい。今後、電車、バスが走っていますので、ミジュマルデザインの切符など、関連した利用促進策に取り組んでいきたい。

・会長

こういった活動により、皆様に注目いただいて公共交通の利用促進に繋がればという思いです。

また、デジタルきっぷ、交通カードに関しては必ず実現したい。現設備などの構造的な問題等、ハードルがたくさんあり、また費用も相当掛かりますが、スタンダードになりつつあることも踏まえることと導入に向け検討しなければならない。

○採決

原案どおり承認。

### （3）鳥羽市地域公共交通計画実施計画（令和4年度版）（案）について

○事務局説明

資料7に基づき、主に令和3年度事業進捗を踏まえた変更点について抜粋して説明。

（主な説明点）

2-4 かもめバスのキャッシュレス化（前倒し実施により令和3年度に完了）

4-2 答志島における陸上移動手段の検討（取組み始点を令和4年度に変更）

4-3 かもめバス、交通不便地域の福祉バスの再編（取組み期間の延伸）

4-4 施設の統合、集約化の検討等（取組み期間の延伸）

○委員の質問等

なし

（ただし、変更前後をハイライト表示する等、変更箇所等が明瞭となるよう工夫するよう意見あり。）

○採決

原案どおり承認。

### （4）地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

○事務局説明

資料8に基づき説明。

○委員の質問等

・委員（学識経験者）

本質的などころではないが、計画書の記載項目について次のとおり修正すべき。

項1 公共交通計画に関する情報として、策定時期、期間の記述を加えること。（項2に記載されている前文部分の情報）

項3 実施計画上の記載事業を踏まえた記載の充実が望まれる。

項18 自己評価、第三者評価も終わったのでその旨の記載を加えること。また、地域公共交通計画の策定に係る協議に関する記述を加えること。

○採決

・会長

原案をもとに上記委員からの指摘を踏まえ事務局にて修正するものとして、承認。

## 6. その他

### （1）公共交通利用促進に向けた案内表示の現状と課題について

（名古屋大学大学院環境研究科と鳥羽市とのフィールドワーク結果報告）

○事務局

今日の発表に至った経緯としましては、昨年3月に公共交通の利用促進に関する懇談会を開催し、特に駅からバスセンター、駅からマリナーターミナルへの導線について、市の関係課と加藤教授、名古屋大学大学院の研究室学生とでフィールドワークを実施しました。

外からの目線は非常に重要で、見慣れてしまって気づかない視点・気づきを共有させていただいて、今後のあり方を考えるきっかけにできればと思います。

名古屋大学大学院環境研究科の清水さん、原さんに発表をいただきます。

○発表者（名古屋大学大学院原さん、清水さん）

資料「公共交通の利用促進に向けた案内表示の現状と課題」により、フィールドワークを行った結果として、わかりにくい案内、更新されていない案内、導線をわかりやすくするための提案に関し、別紙資料をもとに説明。

○委員の意見等

- ・日頃通っていると気づきにくい部分がわかりやすくうまくまとめられていた。改善できる点があるとの気づきに繋がった。
- ・鳥羽市の課題解決のため何度も通っていただいたとのことでありがたい。予算等の関係もあろうが、提案いただいた内容の中一つでも改善の実現につなげていただきたい。
- ・他の観光地ではいろいろな観光スポットのPR看板も多数表示されており、観光地の雰囲気が醸し出されているところもある。今回色々な写真を表示していただいたがPR看板が少ないとも感じた。
- ・駅からマリナーターミナルへのルートに関して、観光客の視点で2つのルートを想定いただいたが、地元の方が使う最短ルートはまた違う裏通り。そういった楽しみ方もある。
- ・離島にて旅館を営んでいるが、近鉄鳥羽駅からターミナルまでを電話で案内するにあたり、いつも苦労をしていた。わかりやすく色のラインを引くなど、案内しやすい提案が非常に良かった。

○会長

新たな気づきをいただいた。皆さんがフィールドワークをいただいた内容を参考に、関係各所の協議を前向きに進めていかなければならない。これからも、ぜひともご意見をいただきたい。

○事務局

今回発表の他、フィールドワークではもっと細かい指摘をいただいていますので、会議録をお送りする際に詳しい資料をお送りさせていただきます。

今後の対応は、公共交通会議で考えていければと思います。それぞれの管理者がばらばらに取り組むのではなく、トータルでやらないとうまく誘導できないので、総合的な目線で直していく必要があります。今後、改めて相談に伺いたいのでよろしくをお願いします。

## 6. 閉会